

要件事項	<p><Sea-NACCS> 「ブッキング・コンテナ番号変更（BCC）」業務のチェック処理変更およびEDIFACT対応化</p>
機能概要	<p><変更前仕様> ①「ブッキング・コンテナ番号変更（BCC）」業務は「CY搬入確認登録（CYA）」業務実施後でないとコンテナ番号の登録ができない ②「ブッキング・コンテナ番号変更（BCC）」業務はEDIFACTに対応していない</p>
	<p><変更後仕様> ①「ブッキング・コンテナ番号変更（BCC）」業務を「CY搬入確認登録（CYA）」業務実施前でもコンテナ番号の登録を可能とする ②「ブッキング・コンテナ番号変更（BCC）」業務をEDIFACTに対応させる</p>

1. 変更内容

(1) BCC業務において、以下の変更を行う。

(A) チェック処理の変更

コンテナ情報DBに関する以下のチェックを削除する。

- ①入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在すること。
- ②CYに搬入されていること。
- ③CLR業務により船積処理が行われていないこと。

(B) EDIFACT対応

BCC業務のEDIFACT電文形式での業務実施可否については、下記表のとおりとする。

図表 EDIFACT対応業務一覧

項番	業務コード/ 出力情報コード	業務名、出力情報名	マッピング ID
1	BCC	ブッキング・コンテナ番号変更	BCC110
2	BCC	BCC業務 処理結果通知	BCC210

※BCC110については、BKR110と同様のメッセージタイプとバージョンとする。

メッセージタイプ：IFTMBC

バージョン：D99B

なお、BCC業務で出力する下記の出力情報はEDIFACT対象外とする。

- ①ブッキング・コンテナ番号訂正通知情報（SAT079）
- ②ブッキング・コンテナ番号取消通知情報（SAT080）
- ③ブッキング・コンテナ番号登録通知情報（SAT081）

(2) BCC業務の変更に伴い、BCC11業務において以下の変更を行う。

(A) チェック処理の変更

コンテナ情報DBに関する以下のチェックを削除する。

- ①ブッキング番号の訂正またはコンテナ番号の取消しの場合で、入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在する場合は、CLR業務により船積処理が行われていないこと。

(B) コンテナ番号呼出し処理の変更

コンテナ番号の登録の場合、ブッキング・コンテナ情報DBに登録されているコンテナ番号全てを呼出し可能とする。

2. 変更対象

既存業務の変更

- ①「ブッキング・コンテナ番号変更（BCC）」業務
- ②「ブッキング・コンテナ番号変更呼出し（BCC11）」業務

3. 特記事項

以下のEDI仕様書について修正を行う。

- ①「付表6-9-4 対象業務一覧【輸出関連業務】」
- ②「EDIFACT 対応業務サブセット名一覧表」

4. リリース予定日／サービス開始予定日

平成25年08月18日（日）